

私たちの一票

お隣へ 声をかけ合い 投票へ

平成30年4月25日発行
四日市市明るい選挙推進協議会
(諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



市文化会館で開かれた新成人への選挙啓発に参加した地区幹事の皆さん

選挙啓発活動について

明るい選挙推進協議会会長 高橋 佳子

平成31年は四日市市議会議員選挙をはじめ、三重県知事選挙、三重県議会議員選挙といった、私たちに最も身近な地方行政に関する選挙である統一地方選挙と、国政選挙である参議院議員通常選挙が行われる予定です。

昭和38年2月8日に発足された「四日市市明るい選挙推進協議会」は今年で55年を迎えます。平成6年には規約改正をし、それまで40人余りであった委員も、今では130人となり、各地区でのイベントはもちろん、成人式や大学の文化祭、高等学校の文化祭など様々な場所やイベントで啓発活動を行ってきました。

私たち明るい選挙推進協議会としては、今まで行ってきた啓発活動の経験を活かし、国民が積極的に投票参加されるよう、政治や選挙に関する国民の意識の成熟、向上を図るため、四日市市選挙管理委員会と連携し、今後とも選挙啓発活動を続けていきたいと思っております。

表彰受賞者のご紹介



長年、地区での啓発事業をはじめ、明るい選挙の推進にご尽力された委員には市選挙管理委員会委員長から表彰いただいております。

今年度は、5名が表彰されました。おめでとうございます。

小山田地区	北尾 喜子 様	中 部地区	豊田百合子 様
三 重地区	服部 善男 様	中 部地区	三日市 存 様
県 地区	矢田 恵美 様		

選挙事務協力へのお礼

市選挙管理委員会委員長 渡邊 八尋

明るい選挙推進協議会の皆さまには、各地区での啓発活動を始め、昨年は、衆議院議員総選挙での期日前投票の立会人への就任や、選挙時の臨時啓発にご参加いただくなど、多大なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。昨今の選挙を取りまく状況は、在外選挙人名簿登録手続の改正や、知事・県議会議員選挙における県内移転時の取扱いの改善など、様々な有権者の利便性向上や、投票環境改善に向けた制度改正が行われています。

また、来年には統一地方選挙と参議院議員通常選挙が予定されており、有権者への周知・啓発活動が一層重要となってきております。明るい選挙推進協議会の皆さまには、引き続き、選挙執行や啓発活動についてのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日永地区ふれあいまつりにおける啓発

寺本 都美子（日永）

日永地区では、毎年八月に「ふれあいまつり」を実施しており、選挙啓発活動の一環として「うちわ」を配布しています。この「うちわ」の裏面に【せんぴょん・こにゅうどうくん】の絵と共に、明るい選挙推進協議会、「選挙に行こう！」の文字で啓発を促していますが、果たしてこの大勢の中で何人の人が「うちわ」の裏面を見て選挙に関心を寄せてくれたでしょうか。一人でも多くと思いながら配布しています。選挙権年齢が18才に引き下げられたことで投票率とこの活動の成果が少しでも上がることを願っています。

モデル地区事業

石田 隆子（八郷）

平成29年度モデル地区となり啓発活動として小学校へのポスター依頼、地区の行事、自治会の夏祭り等での啓発物品の配布を例年通り実施しました。

そして、モデル地区が四地区合同で、四日市商業高校の文化祭において啓発活動を行うことになりました。選挙権年齢が満18歳となり高校生の中にも選挙権が与えられ投票参加ができるようになり、どんな反応があるのか楽しみでした。たまたま衆議院議員選挙が近かったこともあり、当日は、啓発物品を配りながら数人の生徒に話しかけてみると思っていた以上に関心があり驚きました。その気持ちをいつまでも忘れずに投票に参加してほしいと思いました。



四日市商業高校の文化祭で啓発物資を配布する委員

市議会の傍聴

本田 榮（三重）

12月7日午前の市議会本会議を、傍聴してきました。それほど広くない傍聴席の1/3程度しか傍聴人がおらず、それもほとんどが明推協の委員と思われ、寂しく感じました。以前、市役所への用事ついでに議会を傍聴した時は3名で、市民の関心の低さにがっかりしたのを覚えています。

今回の傍聴では、3名の議員の質問に対し、関係部署の部長が答弁をされていました。どの質問も市民生活に深く関わる内容で、市側の回答も概ね納得のいくものでした。本会議では仕方がないでしょうが、回答に対して、更に突っ込んだ質問が出され討論がされるといいなと思いました。それは本会議前に委員会で、審議されているのだと思います。委員会での審議を、傍聴できたらと思います。

とは云え、本会議の傍聴人がもっと増えればと思いながら、帰途につきました。

旗を先頭に啓発活動

萩 伸元（小山田）

さる日、小山田地区第42回の運動会が、小山田小学校運動場で開かれました。明推協の委員は、各町から集まった大勢の人々にポケットティッシュや絆創膏を配り、選挙に行くよう啓発をしました。昼休みには「あなたの一票 大切にしたい」と書いた、のぼり旗を先頭に、会場を回り、みんなに“投票”を呼びかけました。



のぼり旗を手に応援席を回る委員

三河支会指導者研修会に参加して

三輪 真純（大矢知）

文教大学経済学部 根本教授の「区割りについて～一票の格差の縮小をめぐって～」を聴講した。

1947年（第23回衆議院総選挙）より始まった中選挙区制で当時466であった議席は増え続け、1986年（第38回衆議院総選挙）には最多の512となり、一票の格差という大きな問題となった。



「区割りについて」の講義をする根本教授

その後、小選挙区比例代表並立制がとられ格差是正のために「市区郡の分割」、「定数配分」などをおこなっているが、未だに違憲状態である。

また、参議院でも合区などを行い比例配分するが、人口の少ない県には合区をすると参議院議員を一人も出せないことがありうるとの懸念も強い。

私たちの代表を決める選挙は、慎重に一票の重みの格差を縮小していかなければならないと理解した。

期日前投票立会に参加して

進士 弘（八郷）

最近、期日前投票をする人が、回を追うごとに増加しているように見受けられます。

昨年の衆議院議員選挙では、期日前投票所は人が途切れることがない状況で、立会いも気合が入りました。また、当日投票日に大型台風が接近するという報道がされ、特に当日選挙の前日は、各地で長蛇の列が出来たそうです。期日前投票が多くの人に周知され、重要な役割を果たしていると感じます。

防災教育センターでの立会いでは、夕方、高校の制服姿の学生が大人に混じって投票しているのに感心するとともに、胸が熱くなったのを覚えています。これからも、さらに多くの若者が投票に関心を持ってくれることを願います。期日前投票所の数についてですが、投票所を増やし、更に身近な投票所づくりが必要ではないでしょうか。



お世話になります。

平成30年度明推協委員名簿

○印は地区幹事

平成30年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
富洲原	○宮脇 榮喜 高橋はるみ 松本くに子 伊藤千津子 鈴木 修市 野呂 正子	日永	○鈴木 正明 平良 直美 寺本都美子 坂 美保子 寺前 裕子 加藤千登世 加藤恵美子	小山田	○萩 伸元 水野 幸子 北尾 喜子 平尾 充子 椎名 茂則	三重	○服部 善男 國武 京子 中島 幹雄 大森 茂美 南 勝信 辻 すみ 芝野 毅 藤川 金文	大矢知	○三宅 恵子 筑紫 家孝 林 純子 野呂 五男 三輪 真純	中部	○須賀 亮一 水谷 謙之 豊田百合子 三日市 存 稲垣 裕子 田中 紀子 山口 明子
富田	○高橋 佳子 渡邊 堯子 渡邊佳代子 荒木 厚子 稲垣 克子 瀬古準之助 鈴木 京子	四郷	○古川とし子 伊藤 町子 森 勝生 加藤喜代子 平井 好章	川島	○清水 正己 杉 恵子 水野 慶子 袴田 政廣 服部 邦之	県	○神代 正規 水谷 秀子 赤井真知子 矢田 恵美	河原田	○山田眞美子 今村 亘 大平さなえ 高橋 艶子 伊藤ひとみ	海蔵	○笹原 久子 笹岡 悦三 前川千鶴子 石崎 裕子 森下 尚子 北間 脩史
羽津	○八巻 敬司 久志本正彦 尾崎久美子 安田 久子 正岡 智子 藤井 明	内部	○光本 哲夫 堀 育夫 加藤 秋雄 浜名 京子 村山 久子 前唄 孝夫	神前	○鈴木 敏夫 佐野しのぶ 渡辺 勝利 川村きさ代 中瀬 幹一	八郷	○進士 弘 石田 隆子 三林 政見 山尾 和子	水沢	○森 敏彦 田中 秋子 水谷 輝美 清水 貞義	橋北	○山本江里子 塚脇 大仁 服部 富子 諸岡 彌
常磐	○加藤 繁保 丹羽 章 田中しづ子 齋藤 勝子 藤原ゆき子 塚本 和泉	塩浜	○今村 郁子 林 よし子 鹿間 直美 渋谷 陽子	桜	○近藤 孝嗣 伊藤 弘一 太田 富也 神田 幹雄 能勢 陽子 鳩野 久文 尾崎 貞夫	下野	○豊田 隆 日置 得祐 野呂 秀 宮下 博一 市川 哲	保々	○市川 収 藤牧千恵美 霞 提三 足立恵美子 坂口加代子	楠	○裏川 薫 竹内チエ子 藤田 倫子 矢田美千代 中村 妙子 高見 英朗

平成30年3月31日付けで退任された方—長い間、ありがとうございました。

[富洲原] 鈴木 典子 様 [常磐] 別所 春代 様 [塩浜] 永田 寛子 様、嶋田 律美 様 [川島] 北川 幸男 様
[神前] 中村 久美 様 [桜] 川北 眞輔 様 [三重] 清水 光数 様、本田 榮 様、服部 健治 様、鈴木 康生 様
[河原田] 田中 啓之 様 [水沢] 吉岡 一樹 様、西村 多美子 様 [保々]・田 通 様、齋藤 さち子 様
伊藤 正子 様 [中部] 藤田 幹雄 様 [海蔵] 福田 知子 様 [楠] 川合 弘吉

広報委員会

委員長 山田眞美子(河原田)

委員 鈴木正明(日永) 服部善男(三重) 進士 弘(八郷) 三宅恵子(大矢知)

あとがき

- ◎…昨年度は、各地区明推協委員の皆様には、衆議院議員総選挙における期日前投票・当日投票と色々お世話になり、ありがとうございました。
- ◎…来年の統一地方選挙、参議院議員通常選挙に向けて新たな啓発活動等を行い、明推協の活動をより良い方向にもっていかれたらと思っております。
- ◎…明るい選挙機関紙「私たちの一票」の発行にあたり、委員の皆様と、選管事務局職員の温かいご協力により第14号を発行することができました、心より厚く御礼申し上げます。
- ◎…先の衆議院議員総選挙は台風の中、選挙立会い、ご苦労様でした。
- ◎…選挙権年齢が18歳に引き下げられたが、18歳、19歳の投票率は期待したほどではなかったと思います。若い人の選挙への関心が高くなっていくよう、啓発活動に力を入れていきたい。

広報委員一同